

2020  
1子

# Vol.170 きくがわ

タウン  
情報

世帯数	3,290
人口	7,948
男	3,854
女	4,094

(11月末菊川の人口)

## ね ね 子~子~、今年って何年~?

ねずみ年~



消防団第14分団  
山口県消防操法大会にて準優勝  
九月二十一日(土)に開催された、第66回山口県消防操法大会 基本操法 小型ポンプの部にて、消防団第14分団が準優勝されました。おめでとう！  
13905760-

周南市社会福祉協議会会長表彰式  
にて菊川地区より3名受賞

十一月十三日(水)に周南市社会福祉協議会  
会長表彰式が開催され、以下3名の方が  
表彰されました。おめでとうございませう！

◎福祉員功労者

- ・青木 幸子 さん
  - ・小林 淳子 さん
  - ・重永 百代 さん
- (永年、菊川地区福祉員として、地域福祉推進  
に寄与)

消防団第14分団

山口県消防操法大会にて準優勝

九月二十一日(土)に開催された、第66回山口

県消防操法大会 基本操法 小型ポンプの部にて、

消防団第14分団が準優勝されました。おめでとう！

13905760-

### 第40回菊川まつり開催

十一月十七日(日)菊川小学校にて記  
念すべき第40回菊川まつりが開催さ  
れました。天気にも恵まれ、大変多くの  
方で賑わい、お祭りは大盛況！

今年も昨年引き続きパトカーと白  
バイ、はじり車が展示。それに加えて、  
自衛隊山口地方協力本部より自衛隊パ  
シエロも展示していただきました。し  
ん ья山口FFCのしん丸くんも参加し、お  
祭りを盛り上げてくれました。

鏡開きや例年よりも景品の多かった  
福引大抽選会、菊川空手同好会による空  
手演武など、第40回目にふさわしい大  
変賑わいのあるお祭りとなりました。皆  
さん来年の菊川まつりもお楽しみに!!



### 第8回菊川ふるさとウォーク開催

十一月十七日(土)に住みよい菊川をつ  
くると、健康・体育協会主催で、第8回  
ふるさとウォークが開催されました。

今回は小畑地区の貴重な史跡や自然  
を満喫できるコース設定となっており、  
約5.8kmをかけて小畑地区を堪能。約  
27,500年前の木材や、日本石垣1  
00選に選ばれている棚田群などを見  
て回りました。

来年行われる、第9回菊川ふるさとワ  
ークは加見地区での開催が予定され  
ています。地元愛を育み、地域の連帯を  
強化、そして健康の増進と体力の強化を  
目的としているイベントです。皆様のこ  
参加、心よりお待ちしております！



### 家庭教育支援チーム設立へ

現在、家庭教育支援チームの設立に向け、  
菊川地区統括コーディネーター、PTA関  
係者、民生委員・児童委員、母子保健推進  
委員、子ども会、老人クラブ、社会福祉協  
議会、学校等の関係者が集まり準備を進め  
ています。

1. 家庭教育支援チームの役割

子育て経験者をはじめとする地域の多様  
な人材で構成された自主的な集まりであ  
り、身近な地域で子育てや家庭教育に関す  
る相談にのったり、親子で参加する様々な  
取り組みや講座などを提供したりします。

2. 今後の動きについて

菊川地区の保育園、幼稚園、小学校、中  
学校等の各保護者に必要とされる家庭教育  
支援チームを設立するため、保護者の皆さ  
んを対象に、アンケート調査を実施する予  
定です。その際はご協力をお願いします。

### 募集 新春ふれあい懇話会

毎年恒例の「新春ふれあい懇話会」を今年も  
開催いたします。是非ご参加ください。是非  
ご参加ください！

【日時】 一月十日(金) 18時30分~

【会場】 JA周南徳山支所

【内容】 ぜんざいサービス、ビンゴ大会、飲食

【会費】 男性3,000円 女性2,000円

【申込】 直接菊川市民センターへ、または自治  
会回覧に添付の受付票にて申込み。

### 菊川地区夢プラン策定委員会始動

令和元年7月、菊川地区夢プラン策定委  
員会(約40名)が発足し、令和3年3月  
末までの夢プラン策定を目指し活動して  
おります。令和3年4月より、策定した夢  
プランの実現に向けて活動を予定します。

① 夢プランの役割

・地域へのSDGsの設計図

② 地域へのSDGs

・地域の暮らしを支える活動

・地域の価値を高める活動

◎現在の進捗状況

策定委員が左記の3つに分かれました。

① アンケートグループ

② ヒアリンググループ

③ タウンウォッチンググループ

夢プランを策定する上で、地域の皆さん  
の意見が必要不可欠です。今後、夢プラン  
策定委員がそれぞれのグループの特徴を  
活かし、皆さんの意見を収集して参りま  
す。質問への回答や、ご協力お願いしま  
す！

また、菊川地区夢プラン策定委員会は新  
たなメンバーを随時募集しております。ご  
興味のある方は、事務局である菊川市民セ  
ンター(0222-88001)までご連絡くだ  
さい。お待ちしております。

菊川地区夢プラン策定委員会について  
の詳細は別紙、増刊号をご覧ください。

あけましておめでとございませう

住みよい菊川をつくる会

会長 小林 雄二

地域の皆様には、令和となって初めての希望に満ちた新年を健やかに迎えるの事とお喜び申し上げます。

昨年の十一月、令和元年度周南市人権教育講演会 兼 菊川ブロック人権講演会が菊川小学校で開催され、冒頭で挨拶をさせていただきました。

住みよい菊川をつくる会の会則には、「地域連帯感と自主性と創造性」が明記されています。これは、日本国憲法の三大原則の一つ基本的人権の尊重そのものだと紹介させていただきました。

菊川地域（とりわけ上・上村）には、宅地も増え、家も増え、子どもたちも増えています。

幼児教育・保育の無償化もスタートしました。周南市の対象者は約三千三百人となるそうです。

「菊川地域は住みよいね」と言われることが地域コミュニティにとって最大の誉め言葉だと思います。

幼年、青年、壮年、老年とみんなバランスの取れた住みよい地域をつくるために、これからも力一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

# 菊川の新人

(左) (右)

## 大野司祥 さん

さん



菊川地区の新人を代表してお二人にインタビューをしました！

まずは新人おめでとございませう。

久：大 ありがとうございます。

お二人はいつからの知り合いですか？

久：大 小学生の時からです。

そのころお互いの印象は？

久：面白くてクラスの人気者だった印象です(笑)

大：一言で表すなら口者じゃない雰囲気を持つ人だったかと(笑)

小さい頃の夢はありましたか？

久：昔の夢は大工でした。祖父が大工で、その働く姿にあこがれていましたので。

大：自分は魚が好きなので漁師になるのが夢でした(笑)

では、現在はどういった生活を送っていますか？

久：結婚して妻と子と3人で暮らしています。仕事が休みの時は娘を連れて公園に行ったりしています。

大：大学に通いながら、広島で一人暮らしをしています。親元を離れて、自分の面倒を見てくれていた親の苦労や有難みを実感しているところです。

菊川での思い出はありますか？

久：色々ありますが、菊川中学校に通っていた時ですかね。

大：自分たちはソフトテニス部に入っていました。毎日朝練、そして夕方も練習していましたね。

久：ソフトテニスと言えば、今は校舎裏にソフトテニスのコートがありますが、自分たちの時にはまだありませんでした。

大：グラウンドの一部に白線を引いたり、

フェンスを並べてテニスのネットの代わりをしたりして、自分たちでコートをつくっていましたね。

久：練習と本番でネットの高さが違うので困惑した記憶があります(笑)

大：今の生徒が羨ましいです(笑) これからの目標を教えてください。

久：一軒家を建てたいので仕事と貯金を頑張ります。老後のことも考えて平屋を希望です！

大：彼女をつくりたいです(笑) 菊川の女性は気が強いイメージがあり、そういう人が自分の好みで、そういう女性と付き合いたいです！

最後に、新人になるにあたっての思いを教えてください！

久：職場で一番年下なので、周りからすぐ目をかけてもらっています。今後、先輩がきたら、しっかり面倒みられるよう、今よりもっとしっかりしたいと思っています。

大：今までは子供だったので許されていた部分があったかと思えます。これからは自分の行動に責任が伴うことを意識して、気を引き締めていきたいと思っています。

今日は忙しい中インタビューにご協力頂き、ありがとうございました!!



# 菊川 探訪

## 第39回

おとしのかみ 大歳神のお祀り (居守迫・助三)

大歳神は、毎年正月に各家にやってくる来訪神である。現在でも残る正月の飾り物は、元々歳神を迎えるため、門松は来訪するための依代(よしろ)であり、鏡餅は供え物であった。農耕神でもあり、農耕が発達するにつれて、年始に豊作を祈念し、正月の中心行事となっていた。

居守迫部落の一番奥(小路ヶ谷)に、大歳神の祠と灯籠がある。現在は、孟宗竹の林に囲まれているが、その前にはケヤキの大木もあり、昔の境内の広さを思はれる。祠には山崎八幡宮からの頂いた新しい御幣を入れて、この神様の好物である丸いもの(柿と柑類)と缶ビールが供えられていた。現在は、居守迫の渡辺一豊さんにより管理され、案内をいただき写真を撮ることが出来た。

祠の製作年を調べると、「天明元年 辛丑(かのとし) 十月十八日」と彫られ、一七八一年である(今から二百四十年前になる)。江戸時代は全期を通じて寒冷な時代であった為、凶作や飢饉が絶えなかった(大飢饉が四回)。特に天明期は大規模であり、大凶作であり、疫病の流行もあって、餓死者・病死者が九十万人を超えた。我々の



先祖はその様な不安に、大歳神に対して豊作を祈り、豊作に感謝し崇拝した。

この神様の祭事は、神様が火を好むこの事で、十一月の「猪の日」に焚火をして、火が真っすぐ高く昇った程来年の豊作が約束されるので、天高く何丈(一丈は約3m)も焚き上げる。たこ、お神酒を供え部落の人が輪になって焚火にあたりながら、祈願する風習があり、今から30年前までは実施されていた。その場所には、当時を偲ばせる真っ黒な灰が今でもある。実施時期やお供え物からは、この部落では、年初の豊作を祈願するより、秋の豊作物の収穫の豊かに感謝すること、皆の心を一つにした様だ。今では休耕田も増え、猪の被害もあり、全国的に災害が多い中、自然への感謝は、一層大切な心掛けである。



『大歳神の祠 (居守迫)』



みおちゃん(1歳) 「いつも可愛い笑顔をありがとう！」



(中央) まゆちゃん(0歳) 「あなたたちの笑顔にいやされています」



(左) みつきくん(2歳) (右) あさひちゃん(0歳) 「すくすく元気に育ってね！」